

加賀市公立保育園再編基本計画の 計画見直しについて

加賀市公立保育園再編基本計画の概要

【策定】

平成28年3月

【計画期間】

平成28年度から
平成36年度（令和6年度）

【計画策定の趣旨】

社会環境の変化とニーズの多様化

急激な少子化に加え、保護者の保育ニーズの多様化

公立保育園の小規模化

園児の約3分の2が民間園へ入園しており、相対的に公立園の少人数化が進行

集団保育の実施困難

少人数化により、子どもの社会性を育むために必要な「一定の集団規模」の維持が難しくなっている

⇒「子どもたちの健やかな育ち」
のための環境を整備することを目的として策定

加賀市公立保育園再編基本計画の概要

【実施方針】

子どもの「社会性の育ち」を担保する
集団保育の観点から、適正規模による
保育運営を目指す。

- (1) 公立保育園の1クラスあたりの標準規模20人程度を目指す。
- (2) 再編は、児童数30人未満の小規模園を優先して行うこととし、最長で3年間を目途に統合する。
- (3) 児童数30人以上、80人未満の標準未満園は、暫定的に継続することとし、児童数の推移を見ながら再編時期の検討を行う。
- (4) 法人立保育園が乳児保育や特別保育を担ってきた歴史的背景や法人立保育園のキャパシティ、地域の児童数推計等を踏まえ、民間活力を効果的に活用しながら、法人立保育園・公立保育園の協働のもと、再編を実施する。
- (5) 再編は中学校区を基本とするが、再編後の公立保育園は地域の子育て支援の拠点施設と位置づける。

【休園基準】

- ・新年度の入園申込終了時点において、2年連続で20人未満の入園児童数となる場合で、かつ、年度途中の入園児童数を見込んでも20人以上の確保が困難な場合は、休園のための協議を行う。
- ・新年度の入園申込終了時点で、入園見込み児童数が10人未満となる場合は、休園する。

加賀市公立保育園再編基本計画の概要

【再編の標準的な手順及び具体的なスケジュール】

校区	No	保育園	建築等	H28.4	R3.4	R7.4
錦城	1	大聖寺	S63	4	2	未
	2	錦城	S62			
	3	三木	H31.4閉園			
	4	三谷	H30.4閉園			
橋立	5	橋立	S48	1	1	1
片山津	6	金明	R3.4閉園	3	1 (スワトン)	1
	7	湖北	R3.4閉園			
	8	潮津	R3.4閉園			
	新	スワトン	R3開園	-		
東和	9	作見	S50	2	2	2
	10	動橋	S50			
山代	11	加陽	H07	5	4	未
	12	山代	R2.4閉園			
	13	庄	S52			
	14	勅使	S50			
	15	東谷口	H10			
山中	16	山中中央	S50	2	2	未
	17	河南	S51			
合計				17	12	7 ⁴

計画の経緯とこれまでの取り組み

【計画の主な経緯】

平成28年3月
「加賀市公立保育園再編基本計画の策定」

平成30年4月
三谷保育園 休園（休園基準）

平成31年4月
三木保育園 休園（休園基準）

令和2年4月
山代保育園 休園（休園基準）

令和3年4月
金明・湖北・潮津保育園を統合し
スワトン保育園を新設（拠点施設設置）

令和6年
計画の延長・内容の修正を公表

【合意形成に向けた取り組み】

休園（三谷・三木・山代）

- ・対象地域の区長会へ説明
- ・保護者説明会の実施
- ・「社会福祉審議会こども分科会」への報告
- ・転園先（公立）との交流保育
- ・転園先への送迎の補償

統合（金明・湖北・潮津）

- ・対象地域への説明
- ・保護者説明会
- ・「健康福祉審議会こども分科会」への報告
- ・統合3園での交流会

計画の一部修正内容（令和6年12月修正）

新型コロナウイルス感染症や能登半島地震の影響により、子どもたちの身体的・精神的負担が大きい状況にあり、保育環境の変化が子どもたちに与える影響を最小限に抑えるためには、引き続き十分な配慮が必要である。

このため、本来は令和6年度をもって終了する予定であった「計画期間」及び「公立保育園運営の休園基準」について、計画の継続を行うとともに、必要な一部修正を加えた内容を公表した。

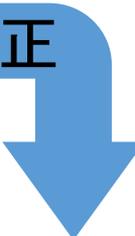
計画期間

平成28年度から平成36年度（令和6年度）

公立保育園運営の休園基準

- ・新年度の入園申込終了時点において、2年連続で20人未満の入園児童数となる場合で、かつ、年度途中の入園児童数を見込んで20人以上の確保が困難な場合は、休園のための協議を行う。
- ・新年度の入園申込終了時点で、入園見込み児童数が10人未満となる場合は、休園する。

修正



計画期間

今後の出生数・入園児童数及び園舎の老朽化の状況等を見極めながら、計画期間を2年間程度延長し、子どもの心身の成長において最大限の配慮ができる柔軟な対応とする。（令和8年度末）
本期間中においても、保護者やまちづくり関係団体等との意見を聴取し本計画の見直しを行う。

公立保育園運営の休園基準

10人未満の場合は休園するという休園基準による、画一的な対応はとらない。
保護者等の意見を踏まえ、対応する。

再編計画（H28～R6）における成果

公立保育園17園体制から、拠点化を含めた12園体制への最適化

□ 保育の質の向上と社会性の保障

- ・ 質の高い保育を等しく提供できる体制と友達とのかかわりでの学びを保障

□ 財政・運営の効率化

- ・ 管理経費の削減及び人員配置の効率化

□ 広域連携による「中学校区」の壁を越えた交流

- ・ 保護者の就労先による園の選定や生活圏域の広がりも意識した交流

□ 跡地活用による地域の課題解決への試み

- ・ 跡地を駐車場や放課後児童クラブ等として活用し住民ニーズに合致した機能転換

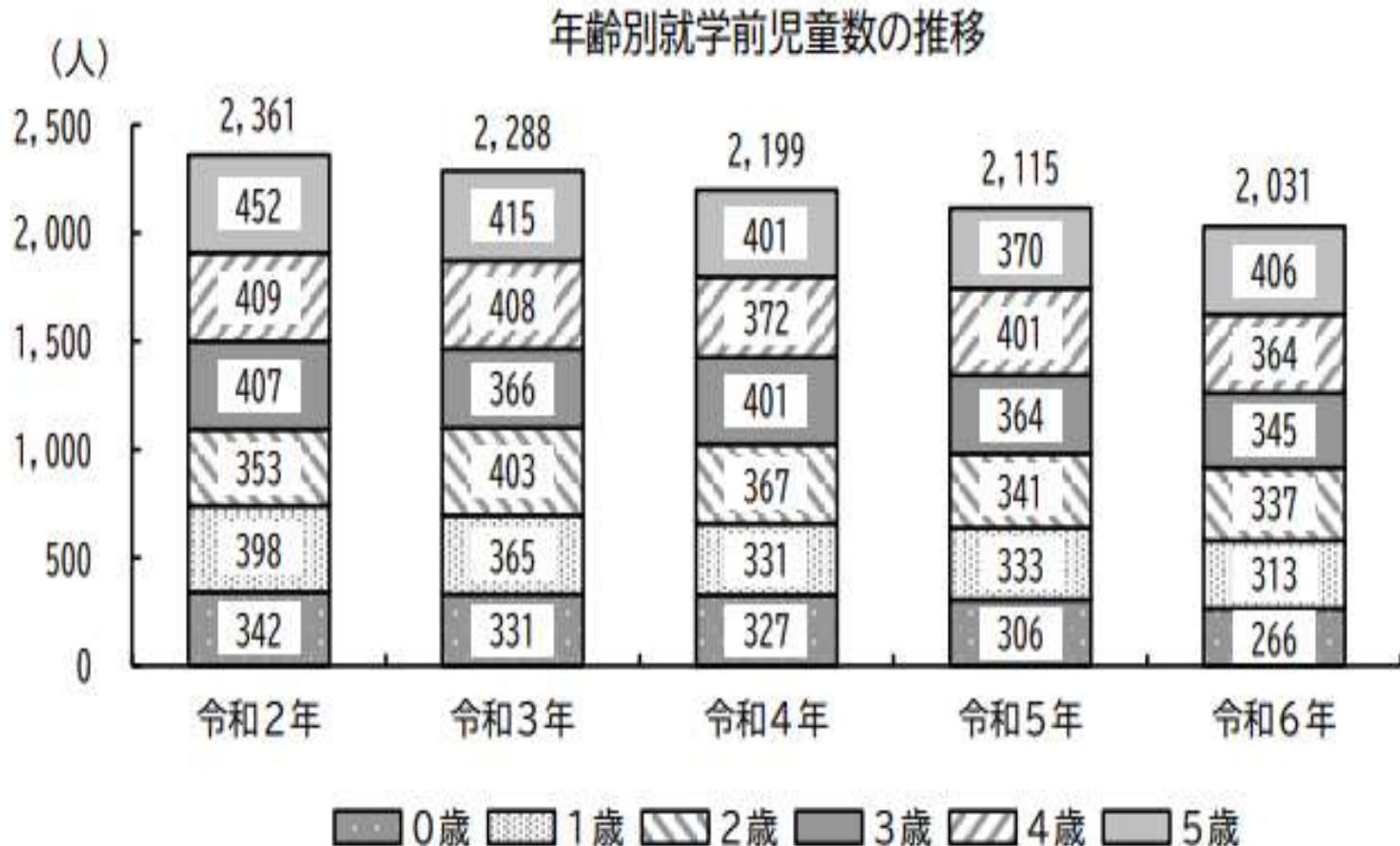
□ 地域文化の広域での継承

- ・ 各地区の祭りや伝統芸能等の地域特有の文化をより広い範囲の次世代へ継承

再編基本計画における一連の取り組みは、地域全体で子どもたちを支える基盤を整え、未来を担う子どもたちが健やかに育ち続けられる環境づくりにおいて効果を発揮している。

現在の就学前児童の現状

就学前児童数の推移数



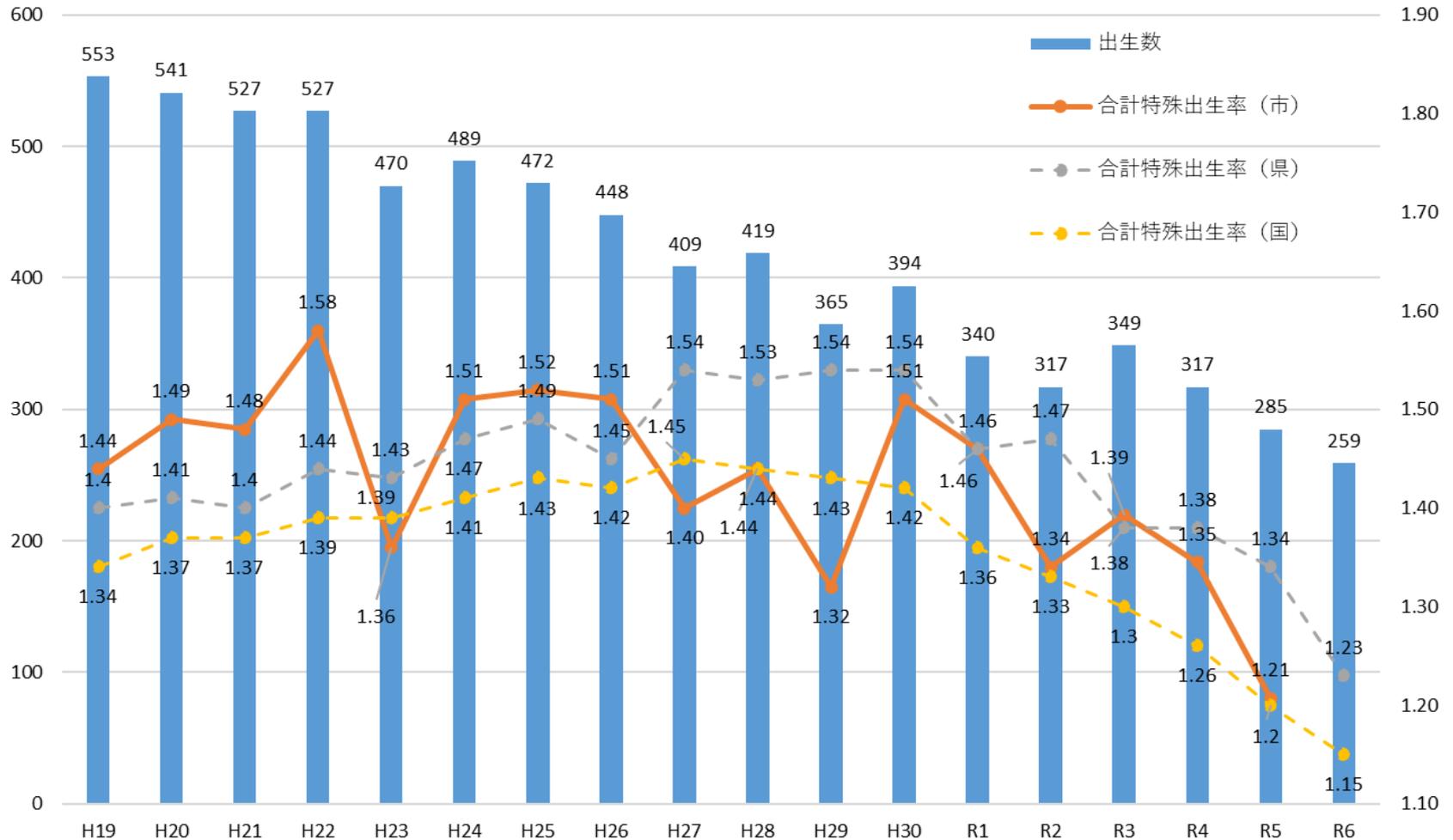
資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

0歳から5歳の就学前児童数は、令和2年の2,361人から1割以上減少し、令和6年4月現在で2,031人となっている。特に0歳から1歳については同期間で2割以上の大幅な減少を記録している。

出生数の推移

出生数・合計特殊出生率の推移

(各年1月～12月)
『加賀市統計書』より



出生数は、増減を繰り返しながら減少し、令和6年で 259 人となっている。

人口推計

単位：人

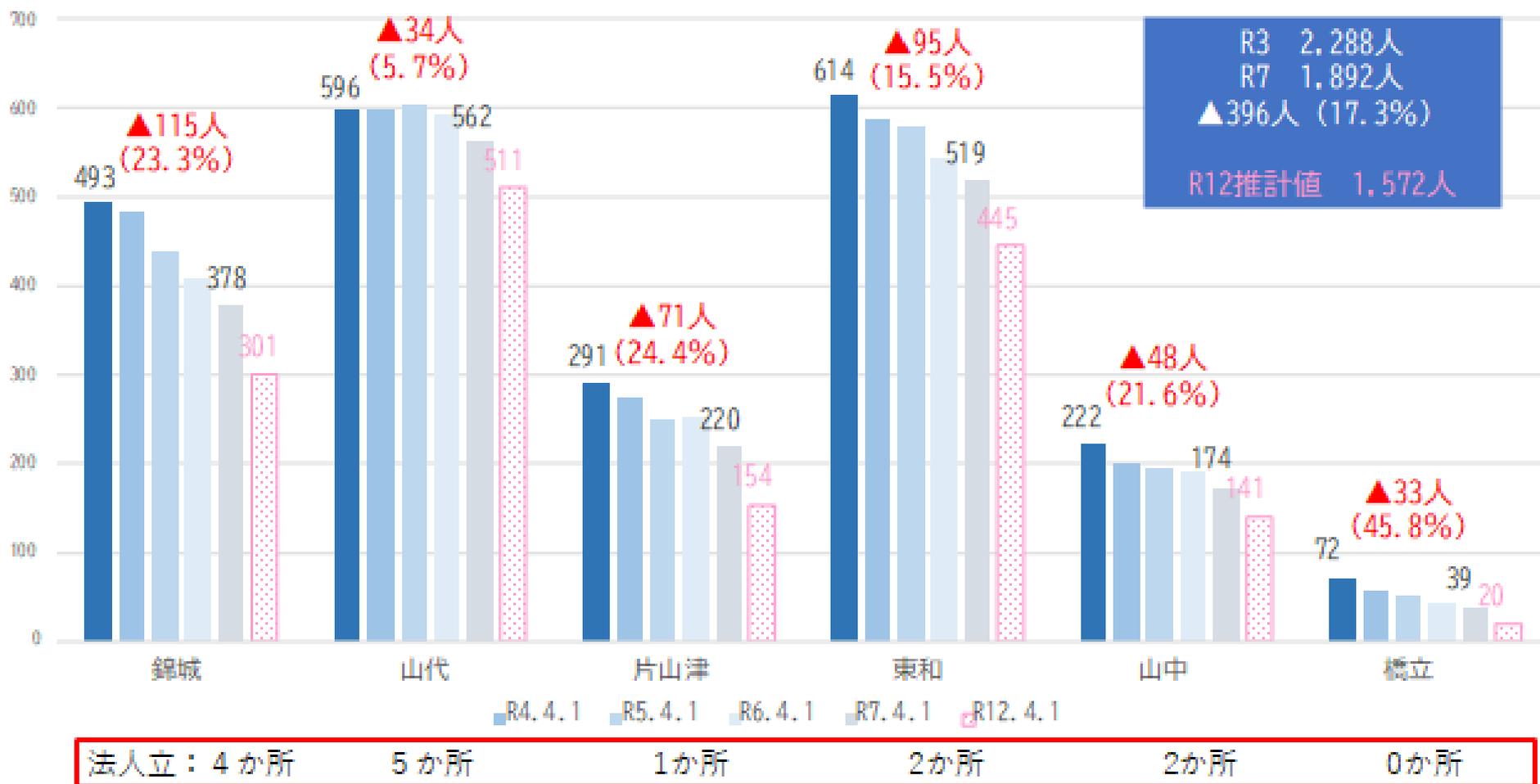
年齢	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	283	274	268	261	254
1歳	273	291	281	275	268
2歳	319	279	297	287	281
3歳	339	320	280	299	288
4歳	346	341	322	281	301
5歳	365	346	342	323	282
小計	1,925	1,851	1,790	1,726	1,674

令和7年度から令和11年度にかけての0歳から5歳の就学前児童数は、令和7年度の1,925人から、令和11年度には1,674人へと毎年減少する見込みである。

また、令和6年の出生数259人という状況から、急速に自然動態は減少が進んでいる。

加賀市子ども計画で定めるサービスの対象となる、0歳から17歳までのこどもの人口を平成31年から令和6年の4月1日の住民基本台帳の人口を基にコーホート変化率法により推計。

中学校区別 就学前児童数推移

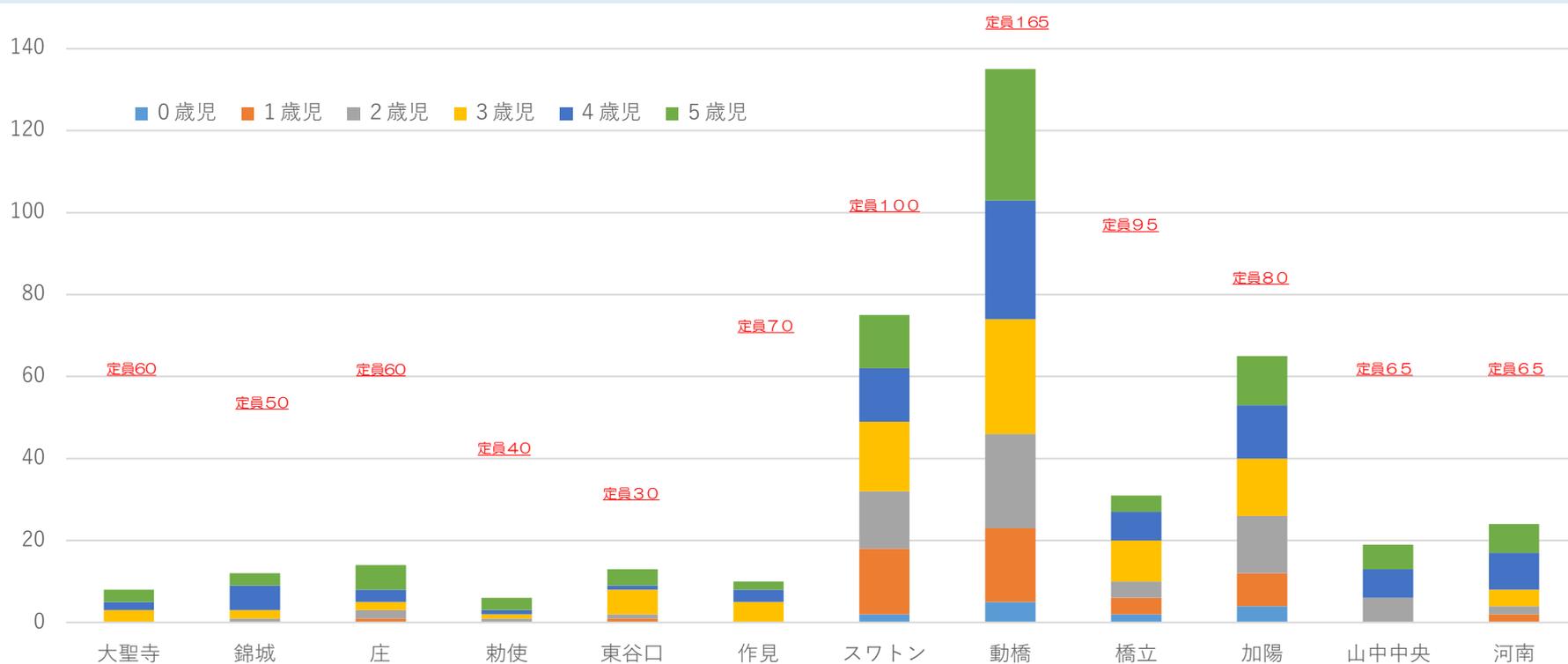


全ての地区で令和3年度から令和7年度にかけて児童数が減少し、令和12年度にはさらに大幅な減少が見込まれている。

山中校区と錦城校区で大幅な児童数の減少が加速する中、公立・法人立を合わせた定員充足率の減少が課題となっている。

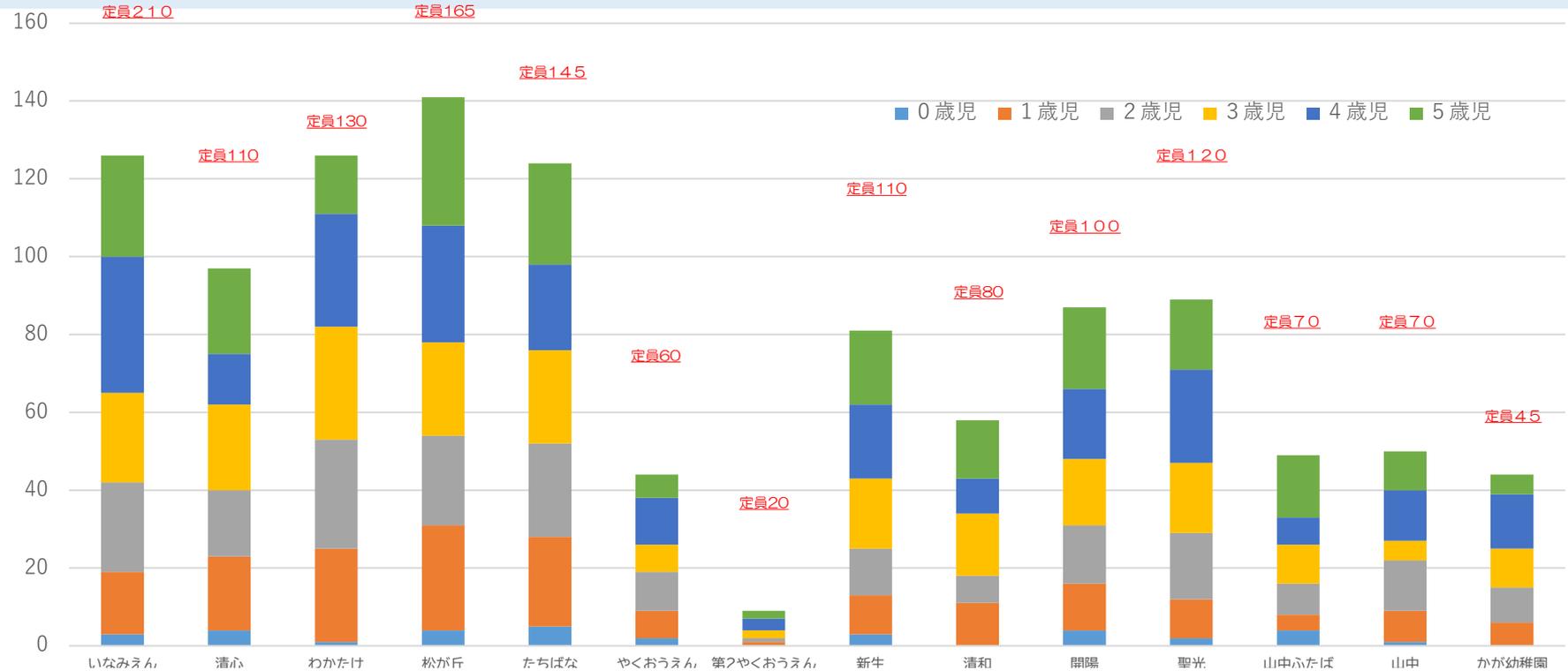
公立保育園 申込園児数

R7.10.16集計



	大聖寺	錦城	庄	勅使	東谷口	作見	スワトン	動橋	橋立	加陽	山中中央	河南
0歳児	0	0	0	0	0	0	2	5	2	4	0	0
1歳児	0	0	1	0	1	0	16	18	4	8	0	2
2歳児	0	1	2	1	1	0	14	23	4	14	6	2
3歳児	3	2	2	1	6	5	17	28	10	14	0	4
4歳児	2	6	3	1	1	3	13	29	7	13	7	9
5歳児	3	3	6	3	4	2	13	32	4	12	6	7
合計	8	12	14	6	13	10	75	135	31	65	19	24
定員数	60	50	60	40	30	70	100	165	95	80	65	65
定員充足率	0.13	0.24	0.23	0.15	0.43	0.14	0.75	0.82	0.33	0.81	0.29	0.37

法人立保育園 申込園児数 R7.10.16集計



	いなみえん	清心	わかたけ	松が丘	たちばな	やくおうえん	第2やくおうえん	新生	清和	開陽	聖光	山中心たば	山中	かが幼稚園
0歳児	3	4	1	4	5	2	0	3	0	4	2	4	1	0
1歳児	16	19	24	27	23	7	1	10	11	12	10	4	8	6
2歳児	23	17	28	23	24	10	1	12	7	15	17	8	13	9
3歳児	23	22	29	24	24	7	2	18	16	17	18	10	5	10
4歳児	35	13	29	30	22	12	3	19	9	18	24	7	13	14
5歳児	26	22	15	33	26	6	2	19	15	21	18	16	10	5
合計	126	97	126	141	124	44	9	81	58	87	89	49	50	44
定員数	210	110	130	165	145	60	20	110	80	100	120	70	70	45
定員充足率	0.60	0.88	0.97	0.85	0.86	0.73	0.45	0.74	0.73	0.87	0.74	0.70	0.71	0.98

現在直面している主な課題

【継続的な少子化と就学前児童数の減少】

将来的な保育サービスの需要の縮小が推測される。現在の0歳児・1歳児の数が極めて少ないことから、今後も児童数の減少が続くことが見込まれる。

需要の減少に伴い、定員の充足率が低下しており、地域ごとの適正な配置を実態に即して見直す必要がある。

【少子化による集団の固定化・過少規模化】

少子化の進展により、一部の園ではクラス人数が極端に少なくなり、子ども同士の多様な関わりや刺激が生まれにくい状況になっている。社会性や切磋琢磨す機会が限定され「主体的な学び」を促す環境づくりに限界が生じている。

【市全体での保育資源の過剰供給】

多くの地区で定員に大きな余裕があり、市全体で保育資源の余剰が発生している。

実施方針（改定内容）

	現 行	改定方針	改定理由
(1)	公立保育園の1クラスあたりの標準規模20人程度を目指す	再考	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上と子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を目指すため ・保護者ニーズの多様化への対応のため ・従来の「1クラス20人程度」という一律の基準を見直し、今後は質の高い保育を提供できる配置が必要ではないか。
(2)	再編は、児童数30人未満の小規模園を優先して行うこととし、最長で3年間を目途に統合する。	再考	4園以外は児童数が30人未満であること、急激な少子化のため3年間の目途を待たず、対応が必要ではないか。
(3)	児童数30人以上、80人未満の標準未満園は、暫定的に継続することとし、児童数の推移を見ながら再編時期の検討を行う。	継続又は再考	(1)を踏まえ、100人を超えている定員の園においては、現行の方針でいくのか、その他の方針が新たに必要ではないか。
(4)	法人立保育園が乳児保育や特別保育を担ってきた歴史的背景や法人立保育園のキャパシティ、地域の児童数推計等を踏まえ、民間活力を効果的に活用しながら、法人立保育園・公立保育園の協働のもと、再編を実施する。	継続	—
(5)	再編は中学校区を基本とするが、再編後の公立保育園は地域の子育て支援の拠点施設と位置づける。	再考	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの中学校区を基本とした設定から、生活圏域や保護者のニーズ等踏まえた設定が必要ではないか。 ・既存の地域資源の状況と公共施設マネジメントの視点も踏まえた跡地のあり方の検討が必要ではないか。
(6)		新規	【施設の老朽化及び頻発化する自然災害への対応】 施設の老朽化に伴う維持コストの増大と安全性低下、および近年の災害の激甚化・頻発化に対応が必要ではないか。
(7)		新規	【保育士の確保と定着(人材確保)】 質の高い保育士を安定的に確保し、子どもたちに継続的で手厚い支援が必要ではないか。

計画見直し今後のスケジュール(案)

日程	内容
令和8年 2月18日	令和7年度 第3回こども分科会(計画のプロセス、現状及び課題、見直しスケジュール)
令和8年 3月	令和7年度 第2回健康福祉審議会
令和8年 5月	令和8年度 第1回こども分科会 (基礎データ、課題確認、保育の視点、アンケート、国の動向)
令和8年 7月	令和8年度 第2回こども分科会(素案)
令和8年 8月	令和8年度 第3回こども分科会(最終案)
令和8年 9月	「加賀市公立保育園再編基本計画」答申
令和8年 9月～	パブリックコメントの募集
令和8年 9月	計画の公表
令和8年10月	令和9年度 入園申込

【合意形成と市民意見の反映プロセスの予定】

市民意見の収集

- ・タウンミーティング(子育て支援施策)
- ・ワークショップ(地区向けに開催)

保護者の意見収集

- ・在園児保護者を対象としたアンケート実施
- ・保護者によるワークショップ開催

庁内・専門的調整

- ・公共施設マネジメント特別委員会との調整(他施設との整合性を確認)
- ・こども分科会での最終的な意見集約